１．個人データ

職名：教授　　氏名：石崎　繁利　　学位：博士（工学）　e-mail： ishizaki@kobe-kosen.ac.jp

２．教育・研究テーマ

機械系技術者育成に適したものづくり教授法の開発

（１）　機械実習におけるものづくり実践例

一貫方式および分担方式によるものづくり教育を実践し、学生の問題解決力、コミュニケーション力などの向上に取り組んでいます。これまでの研究で分担方式を取り入れることで学生のコミュニケーション力および設計製図能力が向上することが明らかになっています。

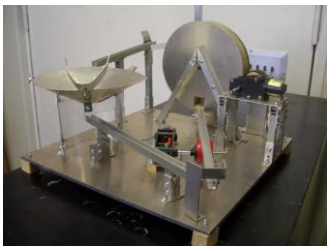

図１ ３年生の作品例１

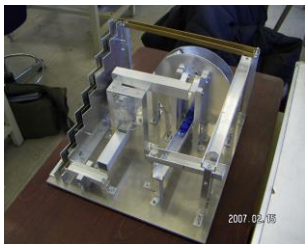

図２　３年生の作品例２

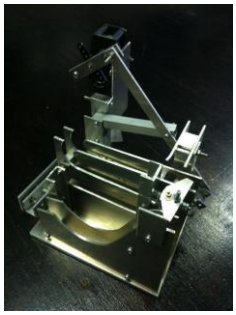

図３　３年生の作品例３

（２）　卒業研究および専攻科特別研究におけるものづくり実践例

最近の研究テーマ

・バドミントン練習機の開発（図 4，図 5）
・競技用ロボットの開発（図 6）
・ものづくり教材の開発（図 7）
・地元企業との共同開発など

図 4 バドミントン練習機

図 5　シャトル取出し部

図 6 競技用ロボット

図 7　高専生によるものづくり教室

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・機械系技術者の育成に関すること。
・ものづくり教材に関すること。
・電子顕微鏡および走査型プローブ顕微鏡に関すること。
・地元企業を対象とした製造現場における技術相談に関すること。

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・出前講義　「神戸高専機械工学科におけるものづくり」、「顕微鏡の歴史について」
・講演可能テーマ　「分担方式ものづくり教育の取り組み」、

（３）キーワード

・ものづくり教育、エンジニアリングデザイン